

10月30日(金) 9:30-11:55

司会：松下 晋司(株)産業タイムズ社)

◆特別講演

「「コロナ禍」と戦う半導体デバイス・電子部品業界の現状と展望」



株式会社 産業タイムズ社

大阪支局 編集部

記者

中村 剛

[講演要旨]

新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済を揺るがしている。半導体・電子デバイス業界においても自動車の生産台数大幅削減やスマートフォンの売れ行きに対する懸念など、マイナス要素が懸念されている。その一方、5G 市場の立ち上がりやリモートワークの拡大に伴うサーバー、PC 市場の好調、自動車電動化の推進などのポジティブ要素もある。半導体デバイスや製造装置、電子部品市場を俯瞰しながら現状の動向と今後の展望を考察する。

[講演者プロフィール]

2008年10月、株式会社産業タイムズ社に入社。半導体産業新聞(当時)編集部記者として、関西および東海、中国四国の半導体デバイス、電子部品、製造装置、電子材料、電池、新エネルギー分野の取材に幅広く従事。

2015年に電子デバイス産業新聞としてリニューアルした後は、取材対象を自動車、医療、ロボットなどのアプリケーション分野にも広げ、現在に至る。

◆特別講演

「コロナ後のエレクトロニクスを牽引する 5G とデータセンタ」



Informa Tech(OMDIA)

Senior Consulting Director

南川 明

[講演要旨]

コロナ、米中ハイテク覇権争い、ARM の買収など半導体業界の行方が大きく揺れている。我々の予測も大きく修正を余儀なくされているので、最新の予測とその背景を紹介します。

[講演者プロフィール]

JEITA では 10 年間にわたり、世界の電子機器と半導体中長期展望委員会の中心アナリストとして従事する。定期的に台湾主催の半導体シンポジウムで講演を行うなどアジアでの調査・コンサルティングを強化してきた。特許庁の自動車用特許の技術審査委員、半導体関連特許審査委員。NEDO の「FeRAM 製造技術の開発」研究評価委員。

---

◆特別講演

「フラットパネルディスプレイ、スマホ、TV 業界見通し：勝者は誰？」



みずほ証券株式会社  
エクイティ調査部  
グローバル・ヘッド・オブ・テクノロジー・リサーチ  
シニアアナリスト  
中根 康夫

[講演要旨]

LCD は生産能力で 5 割以上を占める中国の勝利となりそうだ。材料からパネルへの付加価値移転など、パワーバランス変化の可能性も指摘できる。OLED は大型、中小型共に韓国優位であり、様々な変数もある。地域、技術、スマホ、TV などの完成品など様々な軸でぎゅかい全体の分析を行う。

[講演者プロフィール]

1991 年 4 月、大和総研入社。未上場企業・ベンチャー企業のアナリスト業務に従事。  
1995 年より、台湾にて、台湾・中国のエレクトロニクス業界を担当。  
2001 年よりドイツ証券にて民生エレクトロニクス・FPD・アジアのエレクトロニクス業界を担当。  
2015 年 8 月よりみずほ証券にてグローバル・ヘッド・オブ・テクノロジー・リサーチ兼シニア・アナリストとなり、現在に至る。

---